

各地域支え合い協議会の状況について

1 大津地区（平成28年12月設置）

（1）主な協議・取組内容

- ・周知啓発や関係者の関係づくりを目的とした講演会を開催した
→講演会をきっかけに数名が地域活動の参加につながった

（2）今後の方向性

- ・様々な形での広報や周知啓発の取り組みを継続する
- ・町内会、自治会の支え合い活動への支援を検討する

2 追浜地区（平成29年2月設置）

（1）主な協議・取組内容

- ・支え手養成研修受講者を構成員に加え、生活支援団体や通いの場の創出に向け、具体的な支援方法を協議している

（2）今後の方向性

- ・協議内容によりオブザーバーの参加を求め、支え合い活動や団体の立ち上げに課題を抱えている所に対し、関わりを持ち支援を行う

3 田浦地区（平成29年12月設置）

（1）主な協議・取組内容

- ・地域活動に関するアンケートのまとめと今後の取り組みについて
→地図上に町内会、自治会別に活動を整理し、見える化を行った

（2）今後の方向性

- ・アンケート結果をもとに、支え合い活動・課題の把握と整理を行い、今後の取り組みを検討する

4 浦賀地区（平成30年5月設置）

（1）主な協議・取組内容

- ・地域の課題共有と今後の取り組みについて

（2）今後の方向性

- ・団体によって行われている活動の外に、有志により行われている活動も含めた、支え合い活動に関する情報の整理を行う

5 北下浦地区（平成 31 年 3 月設置）

（１）主な協議・取組内容

- ・ 支え合い協議会の役割の共有と会議の持ち方について

（２）今後の方向性

- ・ 地域の課題共有と今後の取り組みについて検討する

6 久里浜地区（平成 31 年 4 月設置）

（１）主な協議・取組内容

- ・ 支え合い協議会の役割の共有と会議の持ち方について

（２）今後の方向性

- ・ 地域の課題共有と今後の取り組みについて検討する

7 共通事項

- ・ 地域包括支援センターへの第 2 層生活支援コーディネーター配置について
今年度より、大津、追浜、田浦、浦賀の 4 地区について、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターの配置を行った。
各地域包括支援センターに配置を行った理由としては、平成 18 年の地域包括支援センター設置以降、地域との関係構築や、地域づくりの実績があること。
また、各地域に設置されていることから、迅速な対応が可能であるためである。
- ・ 今後、高齢福祉課に配置の生活支援コーディネーターと連携しつつ、地域で行われている支え合い活動及び地域支え合い協議会の支援を行い、高齢者を支える地域づくりに向け取り組みを推進する。